

令和3年度

学校関係者評価報告書

令和4年6月

富山県高岡看護専門学校

1 学校関係者評価の実施について

教育内容や学校運営状況等について、令和3年度分の自己点検・自己評価結果に基づき、実習病院関係者、関係団体、地域住民、保護者等で構成する学校関係者評価委員を選任し、自己点検・自己評価結果の客観性・透明性及び評価結果に係る検証を行い、改善にむけた方向性を見いだすため意見を求めた。

2 評価項目

- ・自己点検評価の内容が適切かどうか
- ・自己点検評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

3 学校関係者評価委員

		所属	役職	氏名
1	実習病院	厚生連高岡病院	副院長・看護部長	秋山 朝子
2	関係団体	(公社)高岡市観光協会	事務局長	原野 豊文
3	経済関係	高岡市産業振興部	商業雇用課長	中川 正人
4	地元自治会	桜馬場中通り自治会	会長	宇波 真一郎
5	保護者代表	-	-	国分 純子

4 評価対象期間

令和3年度分（令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日）

5 評価要領

自己点検・自己評価報告書を学校関係者評価委員に事前配布・説明した後、自己評価結果に対する評価・意見を求めた。

6 自己点検評価概要

自己点検・自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、下記のとおり基準1～10項目とした。

- 基準 1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準 2 学校運営
- 基準 3 教育活動
- 基準 4 学修成果
- 基準 5 学生支援
- 基準 6 教育環境
- 基準 7 学生の募集と受入れ
- 基準 8 財務
- 基準 9 法令等の遵守
- 基準 10 社会貢献・地域貢献活動

7 今後の取組

学校関係者評価の結果、自己点検・自己評価では気がつかない多くの改善点・見直すべき検討課題が発見できた。これらの意見を詳細に分析し、理事会・評議員会においても審議いただき、教育水準の向上・学校運営の効率化に努めていくこととしている。

[評価・意見は別紙参照]

令和3年度 学校関係者評価・意見

富山県高岡看護専門学校

内 容	自己評価 /4点持 点	学校関係者評価委員の評価・意見
基準 I 教育理念・目的・育成人材像		
1-1 理念・目的・育成人材像 は定められているか	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目的として、「地域医療の発展に貢献できる専門職業人の養成」が掲げられており、これまで多くの卒業生を地域の中核病院に送り込み、地域医療の安定に貢献している。 ・設立当初から、教育理念、目的、目標が明確に定められており、それらに沿った教育が行われている。これらの学校の特色はホームページでも動画を用いてわかりやすく説明されている。
1-2 学校の特徴は明確になっているか		
基準 2 学校運営		
2-3 運営方針・事業計画は定められているか	2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・当校は統合した3校が協力し合い、それぞれの利点を組み合わせることにより、地域の実情に即した学校運営が行われている。 ・昨年度同様の課題（周知不足、審議・検討の手法等）が改善されておらず、抜本的見直しを期待したい。 ・各学年の課題目標及び対応策が各学年担当に十分に理解・周知されていないとあるが、どうしてなのか。原因分析と解決策を見出してほしい。
2-4 運営組織や意思決定機能は効率的に動いているか		
2-5 情報システム化による業務の効率化が図られているか		
基準 3 教育活動		
3-6 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師国家試験全員合格を目指し、1年生から国家試験対策に取り組み、開校5年目にして、合格100%に導かれた努力を大きく評価する。一方、休学・退学等により卒業に至らなかった学生に対するフォローや学生達のメンタル、生きがいづくりなど、精神的なサポート指導をお願いしたい。 ・学習分野に関しては、第5次カリキュラム改正で変更となった内容を分野別に掲載されており、わかりやすく周知されている。 ・超高齢社会における看護師は重要な役割であり、引き続き、専門職業人としての方向性を教育現場で示して欲しい。 ・即戦力で働ける看護師の育成を教育現場で今後もお願いしたい。
3-7 カリキュラムは体系的に編成された実践的な専門職業人の養成教育の視点にたった工夫がされているか		
3-8 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		
3-9 教育目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		

基準4 学修成果			
4-10	就職率の向上が図られているか	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の卒業生の110名中102名が看護師として就職され、8名の進学とともに、看護師養成機関としての目標は果たされていると評価できる。 ・学生の学習及び生活面全般について、教員による定期的なきめ細かい指導・面談が実施されている。 ・就職ガイダンス等も適宜開催されており、就職率の向上に努力されている。
4-11	退学率の低減が図られているか		
4-12	卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		
基準5 学生支援			
5-13	就職・進学指導に関する体制が整備されているか	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止によりオンライン授業を余儀なくされたが、学生の学力・モチベーションの低下を招くことなく、就職・進学状況も高い成果を挙げられていることは評価できる。 ・令和3年度の国家試験合格率100%を達成されたことは、素晴らしい功績であり高く評価できる。 ・学校と保護者との連携は、学生本人と保護者との円滑なコミュニケーションの中で行うことが必須である。
5-14	学生相談に関する体制が整備され、有効に機能しているか		
5-15	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		
5-16	保護者と適切に連携しているか		
基準6 教育環境			
6-17	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も医療の高度化に伴い、学校としても随時、最新の医療機器備品を整備していく必要がある。 ・駅前に隣接する看護師養成所として、防災体制を整える中で、当校が被災者支援を担う可能性があることについて考慮していただきたい。
6-18	防災・安全に関する体制は整備されているか		
基準7 学生の募集と受入れ			
7-19	学生募集活動は適正に行われているか	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴う学生募集は、今後ますます厳しさを増すものと思われる。地域の医療福祉を支える人材として、看護師の役割を広く知っていただくことが必要であり、関係機関と連携し、対応していく必要がある。 ・コロナ禍ではあるが、オープンキャンパス等は開催されており、時代の流れに沿った広報手段の更なる拡大を期待したい。 ・優秀な人材を1人でも多く集め、育てていくことで社会のニーズに応えられる学校としての位置付けを確立してほしい。 ・物価上昇に合わせて、学納金の金額を上げることを検討しても良いのではないかと。
7-20	入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか		
7-21	学納金は妥当なものとなっているか		

基準 8 財務			
8-22	中長期に学校の財務基盤は安定しているといえるのか	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・借入金ゼロで健全経営のように思えるが、事業活動収入の44%が寄付金収入と補助金収入であり、学校運営に欠かせない財源となっていることは、収入用面での持続性確保の課題であろう。将来的に経営基盤の確立を図る点からも、学納金等収入の増額と事業活動支出の削減に努める必要がある。 ・財務運営は概ね安定しているといえる。
8-23	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		
8-24	財務について会計監査が適正に行われているか		
8-25	財務に関する情報公開は適正に行われているか		
基準 9 法令等の遵守			
9-26	法令・設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・理事、評議員の役割の明確化を図り、組織のチェック機能がより充実する仕組みを構築してほしい。 ・個人情報の取扱いについては、引き続き法令遵守を徹底していただきたい。 ・インターネット・SNS等の利用に伴う問題事例等を通じて、学生に法令遵守の大切さを重々理解していただきたい。 ・令和4年4月より、成人年齢が18歳に引き下げられたことで、成人としての自覚や行動を学校としても理解させてほしい。
9-27	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		
9-28	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか		
9-29	自己点検・自己評価結果を公表しているか		
基準 10 社会貢献・地域貢献活動			
10-30	学校の教育資源を活用した社会貢献活動を行っているか	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした看護体験学習や地域の福祉問題を調査する野外活動が実施されたことは評価する。単なる空き缶拾い等のボランティアだけでなく、これからの地域医療を担う人材としてできる地域貢献をどんどん実践してほしい。 ・コロナ禍ではあるが、状況を鑑みながら社会貢献活動を推奨していただきたい。 ・地域の一員として、環境整備活動や防災活動に地域と一緒に参加していただきたい。
10-31	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		

その他 意見や改善点などご自由にご記入ください

- ・看護学生の高齢者や子供との交流（運動会や子供会、高齢者や障がい者に対する介護や介助、健康支援などの協力）の積極的に地域を巻き込んだ地域活動への参加を期待したい。
- ・看護を学ぶ学生が地域に居るということで、地域住民は安心感を得ることができる。その観点からも、積極的な地域参加をお願いしたい。

学校関係者評価総括について

自己点検・自己評価結果を基に、医療・経済・地域等の関係者で構成する学校関係者評価委員による検証・意見をいただいた。

令和3年度の学校評価・意見については、昨年度と同様の指摘があったものの、学生の教育環境及び学修成果に関しては好評価であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症や少子化問題、さらには物価上昇という社会的・経済的背景のもと、様々な分野で時代に即した学校運営をしていく必要があるとの意見が見られた。看護師不足が懸念されるなか、本校としても、学生募集から就職まで質の高い看護人材の養成に全力で取り組むとともに、地域に開かれた学校づくりについても配慮していかなければならない。

今回、学校関係者各位からいただいた貴重な意見を真摯に受け止め、より良い学校づくり、また、即戦力として活躍できる看護師を継続的に輩出し、地域医療の拡充に努めていきたいと考えている。